

令和8年度の予算の概要

「もっと輝く幸田を、みんなで」



国内の景気は、予断を許さない海外情勢の影響や海外の通商政策による自動車産業への影響が懸念されるものの、雇用・所得環境の改善などにより緩やかに景気回復を支えることが期待されており、町においては、物価高騰などにより引き続き厳しい財政状況におかれているものの、町税においても過去最高を更新し、回復の兆しが見えている状況です。令和8年度当初予算は「もっと輝く幸田を、みんなを」をテーマに掲げて編成しました。絶え間ないサービスを保ちながら、未来に躍動する明るいまちづくりを目指していきます。

一般会計

一般会計予算は、町が行う事業の大部分が該当する予算です。町税や国・県などからの収入をもとにして、教育や福祉サービス、道路や施設の整備などに役立てる予算で、皆さんの生活に最も深く関わっています。

特別会計

特別会計予算は、特定の収入によって特定の事業を行うための予算です。町には、土地取得特別会計・国民健康保険特別会計・後期高齢者医療特別会計・介護保険特別会計の4つの特別会計があります。

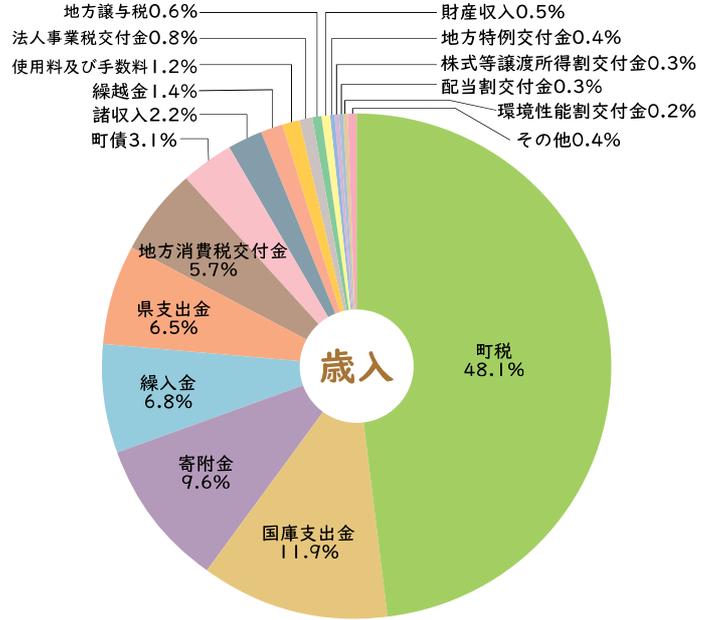
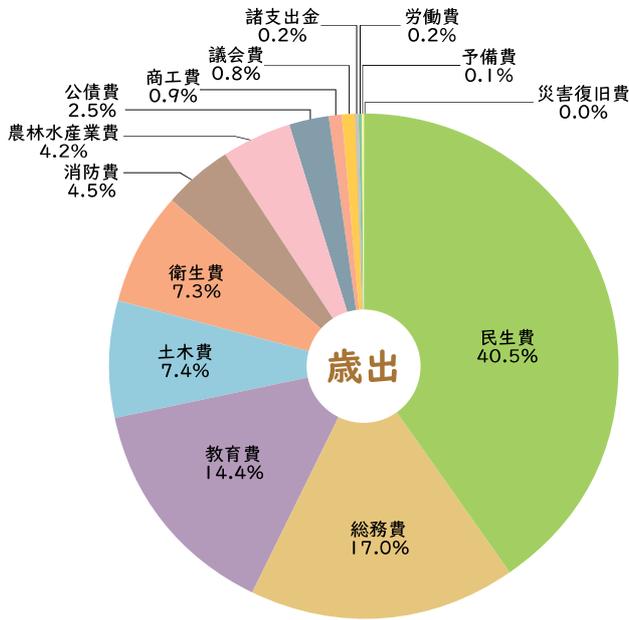
公営企業会計

公営企業会計予算は、一般の企業と同じような方法で経理を行う予算です。公営企業は、経営によって得られた収入で事業を行っていて、町では、水道事業会計と下水道事業会計が該当します。

令和8年度当初予算

会計区分		令和8年度	令和7年度	伸び率(%)	
一	一般会計	207億9,000万円	198億3,000万円	4.8	
特別会計	土地取得特別会計	1,165万2千円	4億263万8千円	△97.1	
	国民健康保険特別会計	33億6,095万3千円	32億8,452万7千円	2.3	
	後期高齢者医療特別会計	7億7,130万1千円	6億9,149万1千円	11.5	
	介護保険特別会計	27億1,852万1千円	26億4,821万4千円	2.7	
公営企業会計	水道事業会計	収益的支出	8億9,480万1千円	8億5,357万5千円	4.8
		資本的支出	4億5,657万6千円	4億4,494万6千円	2.6
	下水道事業会計	収益的支出	12億5,894万1千円	14億2,328万9千円	△11.5
		資本的支出	6億4,284万2千円	7億5,102万3千円	△14.4
合計		309億558万7千円	303億2,970万3千円	1.9	

令和8年度幸田町一般会計 予算総額 207億9,000万円



歳出

費目別に見ると、民生費が全体の40.5%を占め、次いで総務費17.0%、教育費14.4%、土木費7.4%となっています。民生費は認定こども園等給付費および介護給付費の増などにより、対前年度約2億1千万円の増額（2.6%増）。総務費は対前年度約5百万円の減額（0.1%減）。教育費はGIGAタブレット端末更新、児童用トイレ洋式化工事設計委託、ハッピーネス・ヒル・幸田指定管理料の増加などにより、対前年度約6億4千万円の増額（27.2%増）をしており、歳出全体では9億6千万円の増額（4.8%増）となりました。

歳入

最も大きな割合を占める町税は、町民税において給与所得の増加や大手自動車関係企業の業績などから増額を見込み、対前年度6.9%増の約100億1千万円を見込みました。近年では大きな収入となっている寄附金（ふるさと納税）は昨年度と同額の20億円を見込んでいます。国庫（県）支出金は総額で約38億3千万円の交付を受ける予定です。財源が不足する部分に対しては、基金（貯金）からの繰入金（取り崩し）約14億1千万円を活用します。町の借金にあたる町債は、建設・土木事業などに取り組むために、約6億4千万円を借り入れる予定としました。

主な区分の内容

歳入（1年間のすべての収入）

【町税】町民税、固定資産税、軽自動車税など皆さんから納められるお金

【寄附金】町に対して無償で贈られるお金（ふるさと納税も寄附金になります）

【国庫（県）支出金】特定の事業の財源の一部として、国（県）から町に支払われるお金

【繰入金】基金（貯金）からの取り崩しや、特別会計からの繰入れをするお金

【町債】大きな事業を行うために、国や金融機関などから借りるお金（借金）

歳出（1年間のすべての支出）

【民生費】子育ての支援や医療・福祉サービスなどに使われるお金

【総務費】まちづくりの推進や町の財産の管理、町職員の給与などに使われるお金

【教育費】小・中学校やハッピーネス・ヒル・幸田の運営、生涯学習講座などに使われるお金

【土木費】道路や公園づくり、土地区画整理などに使われるお金

【衛生費】ごみ処理や環境保全、予防接種や健康推進に使われるお金

【公債費】町債（借金）の返済に使われるお金

令和8年度の主要事業



公共交通再編事業

10月以降に、幸田町地域公共交通計画に基づき、えこたんバスを補完するため、チョイソコこうたの台数を現在の1台から2台増加した3台に変更し、全町へ拡大と同時に有償化を検討していきます。その後、えこたんバスルートコンパクトに再編していきます。

子育て短期支援事業

保護者の疾病そのほかの理由により、家庭において18歳未満の子を養育することが一時的に困難となった場合などに、児童養護施設などにおいて、宿泊を伴う預かりとして短期入所生活援助（ショートステイ）事業、平日の夜間または休日の預かりとして夜間養護等（トワイライトステイ）事業を行います。



自然共生サイト 認定準備事業

広田川・相見川合流部の自然環境を科学的に調査し、専門家によるデータ収集などを行い、自然共生サイト認定に必要な情報と体制を整備していきます。また、観察会などを通じ官民協働で自然を守り育てる環境づくりを推進していきます。

公園施設長寿命化 対策支援事業

都市公園において、「幸田町公園施設長寿命化計画」に基づき、改善が必要と判断された公園施設の更新を、国の補助事業を活用して順次行っていきます。利用者が安全で安心して利用できる公園環境の整備を進めていきます。



小学校給食費無償化 事業

全ての小学校の児童が経済状況に関わらず、平等に栄養バランスの取れた給食を食べられるようにすることを目的として「給食費負担軽減交付金」が創設されます。国や県の公費を用いて、学校給食の費用を児童の保護者から徴収することなく、給食を提供していきます。

学校トイレ洋式化 事業

小中学校におけるトイレの洋式化および乾式化を進めていきます。令和7年度の補正予算にて進められている幸田小学校、中央小学校に加え、令和8年度は坂崎小学校、荻谷小学校のトイレ改修基本設計および工事実施設計業務を行います。坂崎小学校については、併せて未実施である体育館トイレ改修工事の実施設計を行います。改修工事は令和9年度より2校ずつ整備を行っていく予定です。



問合せ 財政課 財政グループ ☎(0564)62-1111(内線324) FAX(0564)63-5139